



2013年3月期 決算説明会

2013年5月9日
株式会社ニコン

※本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した内容であり、潜在的风险及び不確実性が含まれます。
従いまして、様々な要因の変化によって、実際の業績は記述されている内容と大きく乖離する結果となる可能性があることをご承知おきください。

Agenda

- I . 2013年3月期の概況**
- II . 2014年3月期の見通し
- III . 参考データ

◆**精機事業は設備投資の低迷で前年比減収・減益、映像事業は前年のタイ洪水被害から復旧したが下期に市場環境が悪化、会社全体では前年比 10%増収、36%営業減益**

【精機】

半導体用、液晶用ともに最先端露光装置で競争力向上を実現できたが、市場縮小の影響を受け、前年比 28%減収、70%減益

【映像】

上期は販売・収益ともに順調であったが、下期には市場環境が急激に悪化。上期にはタイの洪水リスク対策で製品在庫を厚めに積んだ影響もあり、下期の営業利益率が上期に比べ低下。前年比 28%増収、13%増益。
なお、期末には、ほぼ計画どおりの在庫レベルに戻した

【インストルメンツ】

公共予算の延期・縮小、半導体・電子部品向け設備投資抑制の影響を受け、前年比 4%減収、営業赤字幅は拡大

◆**期末配当金は12円、年間配当金は31円**

2013年3月期 連結売上高・損益

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	13年3月期 実績	上期 下期	前年 実績比	前回 予想比
売上高	9,186	$\frac{4,863}{4,323}$	10,000	$\frac{4,972}{5,028}$	10,104	$\frac{4,972}{5,132}$	+ 918	+ 104
営業利益	800	$\frac{611}{189}$	480	$\frac{371}{109}$	510	$\frac{371}{139}$	▲ 290	+ 30
売上高比	8.7%		4.8%		5.0%			
経常利益	893	$\frac{651}{242}$	480	$\frac{395}{85}$	483	$\frac{395}{88}$	▲ 410	+ 3
売上高比	9.7%		4.8%		4.8%			
当期純利益	593	$\frac{504}{89}$	380	$\frac{320}{60}$	424	$\frac{320}{104}$	▲ 169	+ 44
売上高比	6.5%		3.8%		4.2%			
FCF	▲340		100		▲132		+ 208	▲ 232
為替 ドル	79円	$\frac{80円}{78円}$	81円	$\frac{79円}{83円}$	83円	$\frac{79円}{87円}$	売上高への影響	
							+ 151	+ 130
ユーロ	109円	$\frac{114円}{104円}$	105円	$\frac{101円}{110円}$	107円	$\frac{101円}{114円}$	営業利益への影響	
							▲ 92	+ 14

映像の増収が効いて会社全体では増収。営業利益は精機では市場縮小の影響、映像では下期の採算性悪化があり、前年比減少

* 前回予想とは2013年2月6日発表における予想です。スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあります。

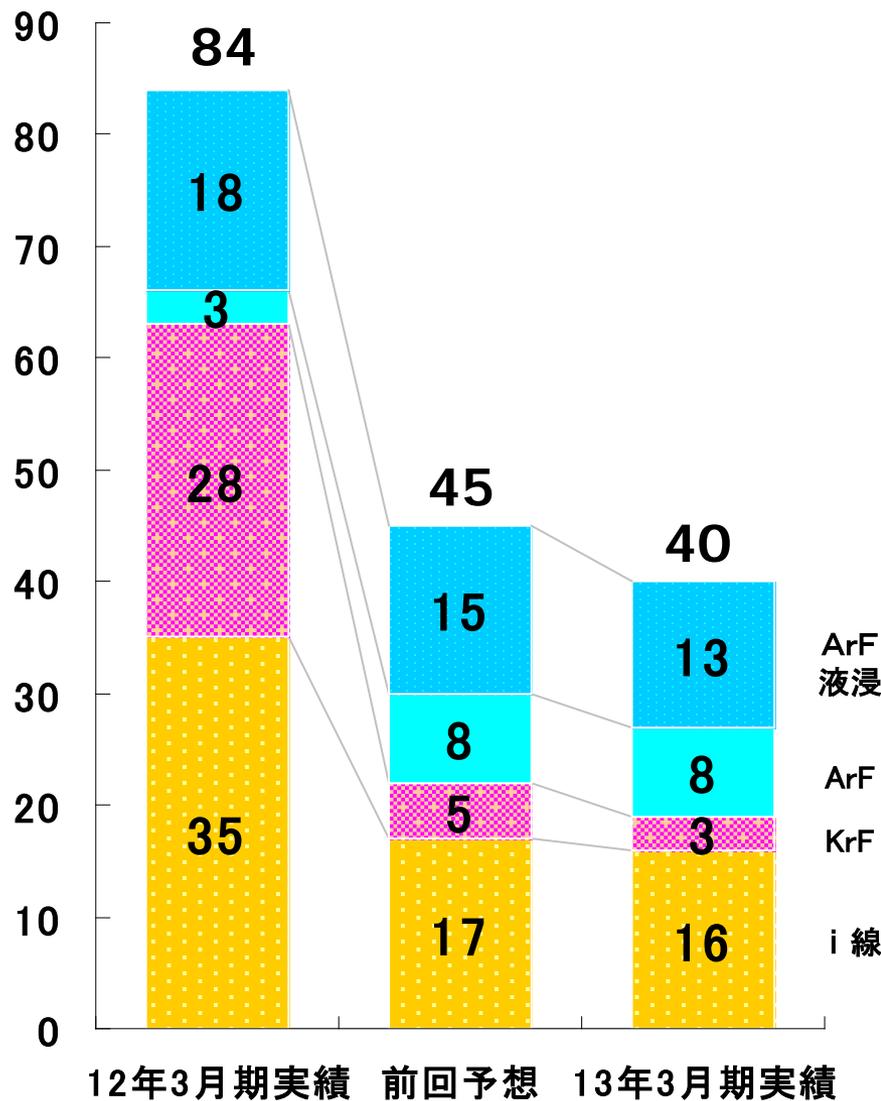
2013年3月期 精機カンパニー

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	13年3月期 実績	上期 下期
売上高	2,481	$\frac{1,248}{1,233}$	1,850	$\frac{804}{1,046}$	1,790	$\frac{804}{986}$
営業利益 売上高比	427 17.2%	$\frac{232}{195}$	110 5.9%	$\frac{72}{38}$	130 7.3%	$\frac{72}{58}$
半導体露光装置 新品/中古	55/29台	$\frac{26/16}{29/13}$	28/17台	$\frac{9/5}{19/12}$	25/15台	$\frac{9/5}{16/10}$
液晶露光装置	86台	$\frac{48}{38}$	42台	$\frac{25}{17}$	43台	$\frac{25}{18}$
半導体露光装置 市場規模 CY11/12	311台		222台		222台	
液晶露光装置 市場規模 CY11/12	109台		66台		66台	

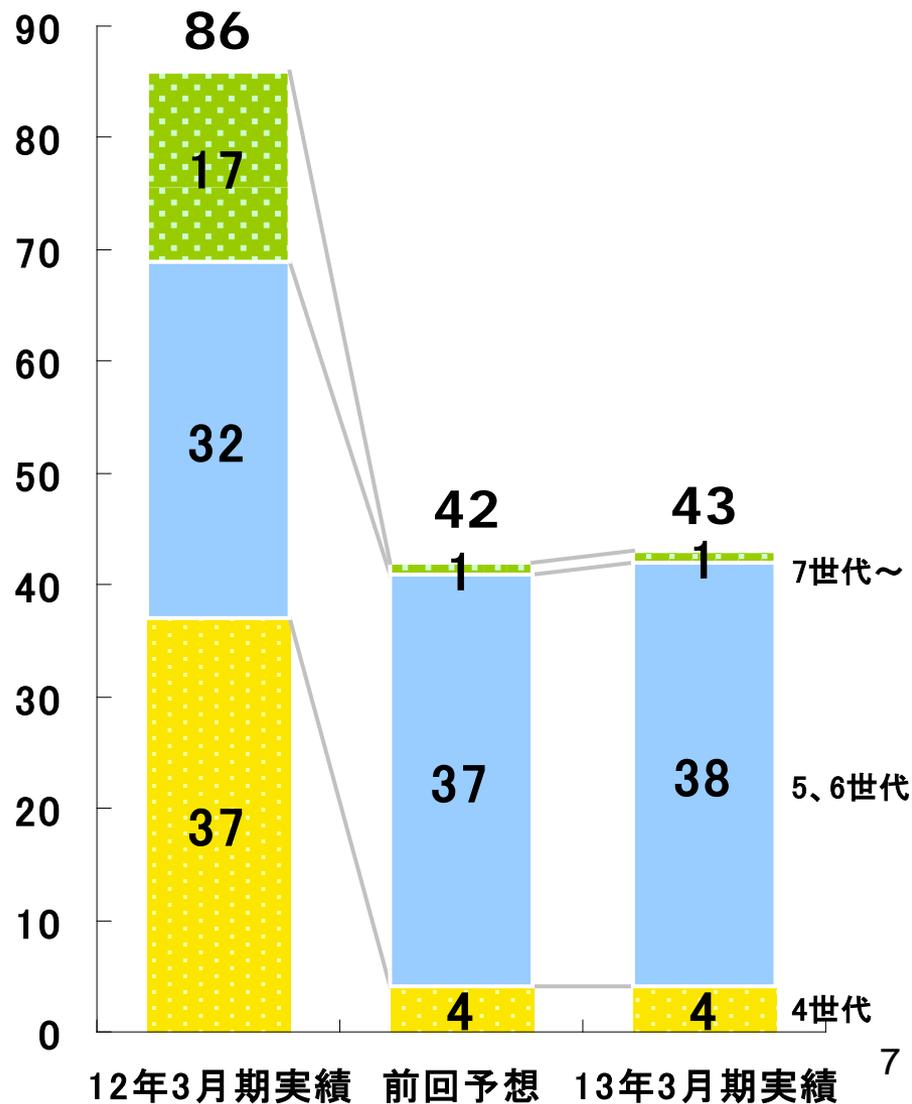
前回予想比、半導体露光装置の新品は3台の未達、液晶用は1台増加して、売上高は60億円の未達。利益はコストダウン進展などで上振れ

半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



単位:台



2013年3月期 映像カンパニー

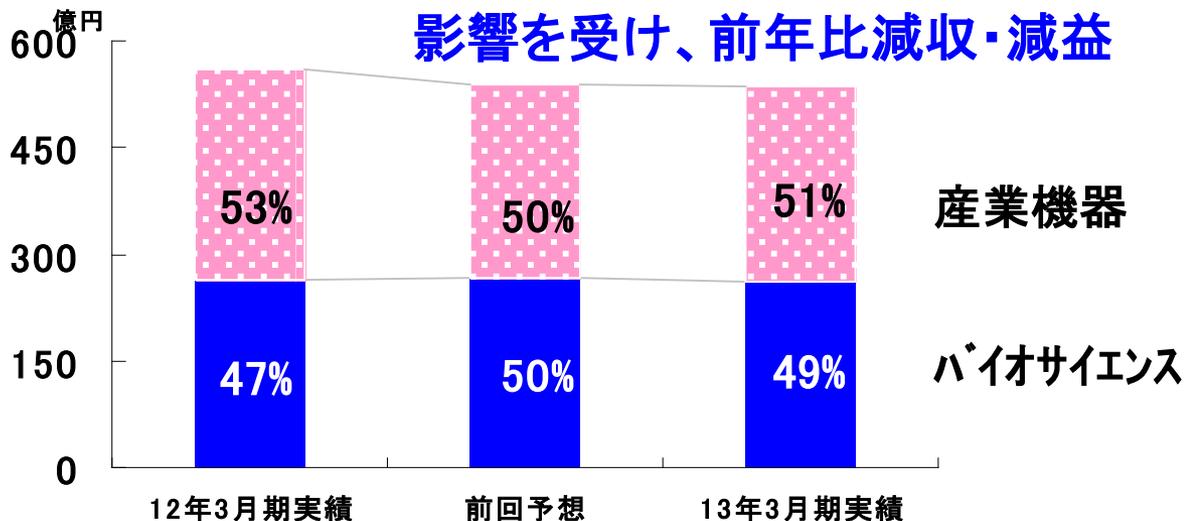
単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	13年3月期 実績	上期 下期
売上高	5,871	$\frac{3,245}{2,626}$	7,350	$\frac{3,810}{3,540}$	7,512	$\frac{3,810}{3,702}$
営業利益 売上高比	539 9.2%	$\frac{474}{65}$	600 8.2%	$\frac{418}{182}$	607 8.1%	$\frac{418}{189}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	474万台	$\frac{273}{201}$	700万台	$\frac{345}{355}$	698万台	$\frac{345}{353}$
交換レンズ	713万本	$\frac{393}{320}$	980万本	$\frac{477}{503}$	971万本	$\frac{477}{494}$
コンパクト デジタルカメラ	1,737万台	$\frac{786}{951}$	1,700万台	$\frac{826}{874}$	1,714万台	$\frac{826}{888}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,633万台		2,050万台		1,923万台	
交換レンズ 市場規模	2,641万本		3,200万本		2,964万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	9,933万台		7,300万台		6,808万台	

コンパクトタイプは約3割の市場縮小のなか、前年並みの販売台数。レンズ交換式カメラは、11月下旬以降に収益環境が急激に悪化、下期の営業利益率(5.1%)は上期(11.0%)に比べ大幅に低下 8

2013年3月期 インストルメンツカンパニー

単位: 億円	12年3月期 実績	上期 下期	前回予想 (2/6)	上期 下期	13年3月期 実績	上期 下期
売上高	560	$\frac{246}{314}$	540	$\frac{237}{303}$	538	$\frac{237}{301}$
営業利益 売上高比	▲31 —% (—%)	$\frac{▲23}{▲8}$	▲40 —%	$\frac{▲29}{▲11}$	▲49 —%	$\frac{▲29}{▲20}$

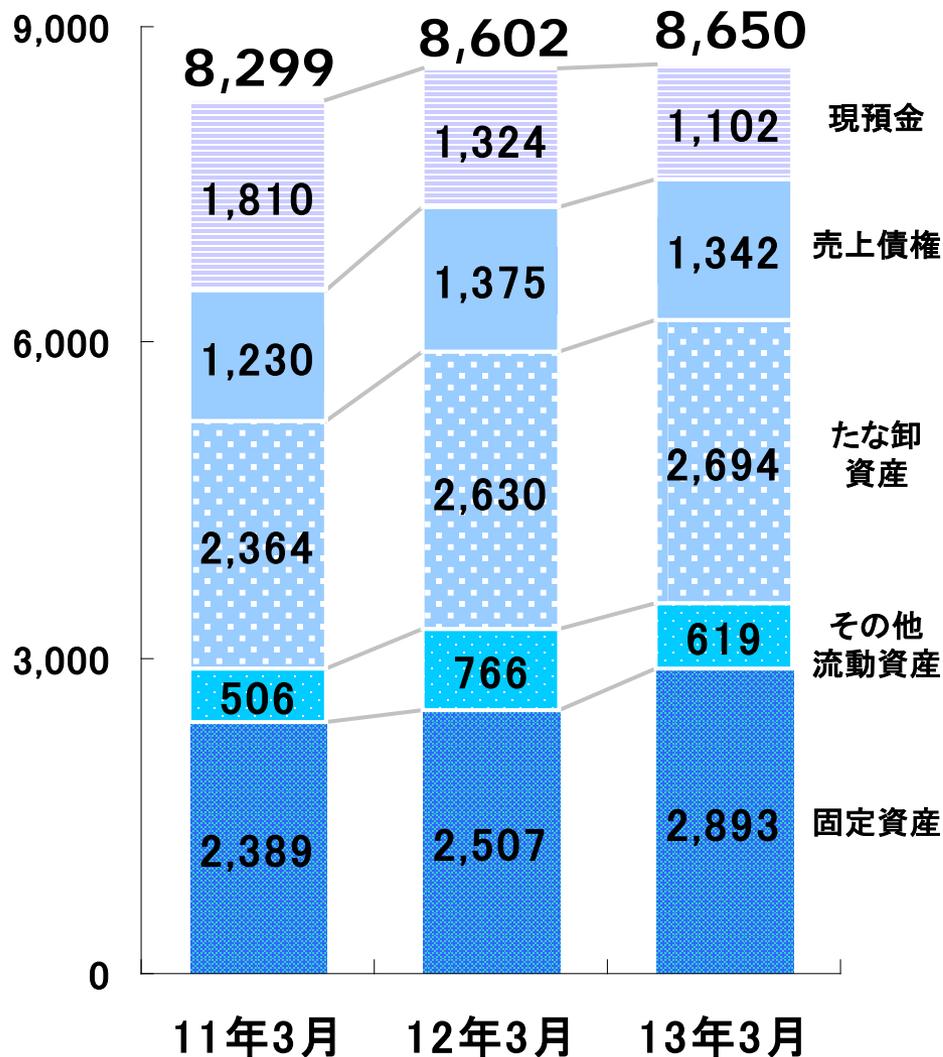
バイオサイエンス分野は公共予算の縮小や遅延の影響、
産業機器分野は半導体・電子部品向け設備投資抑制の
影響を受け、前年比減収・減益



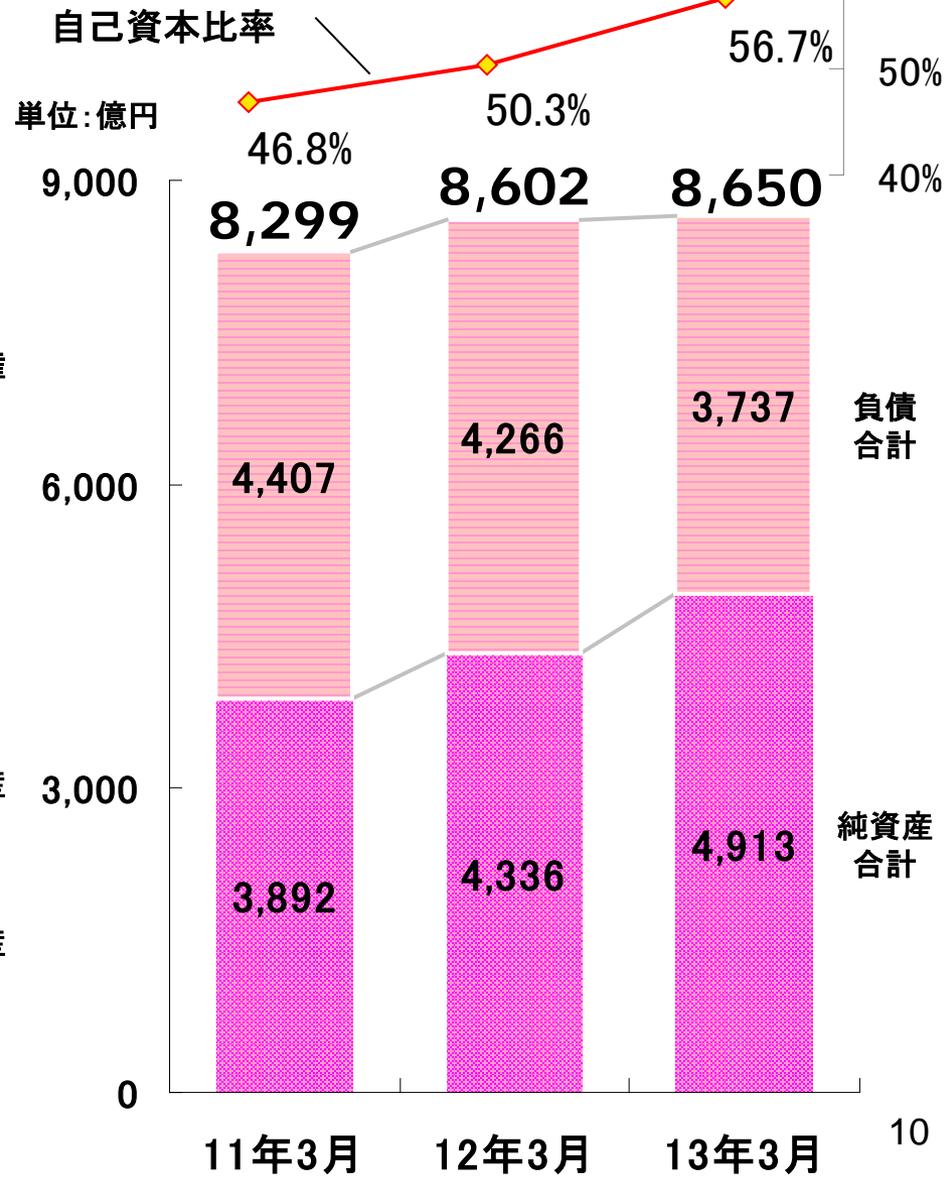
2013年3月期 B/S内訳

資産

単位：億円



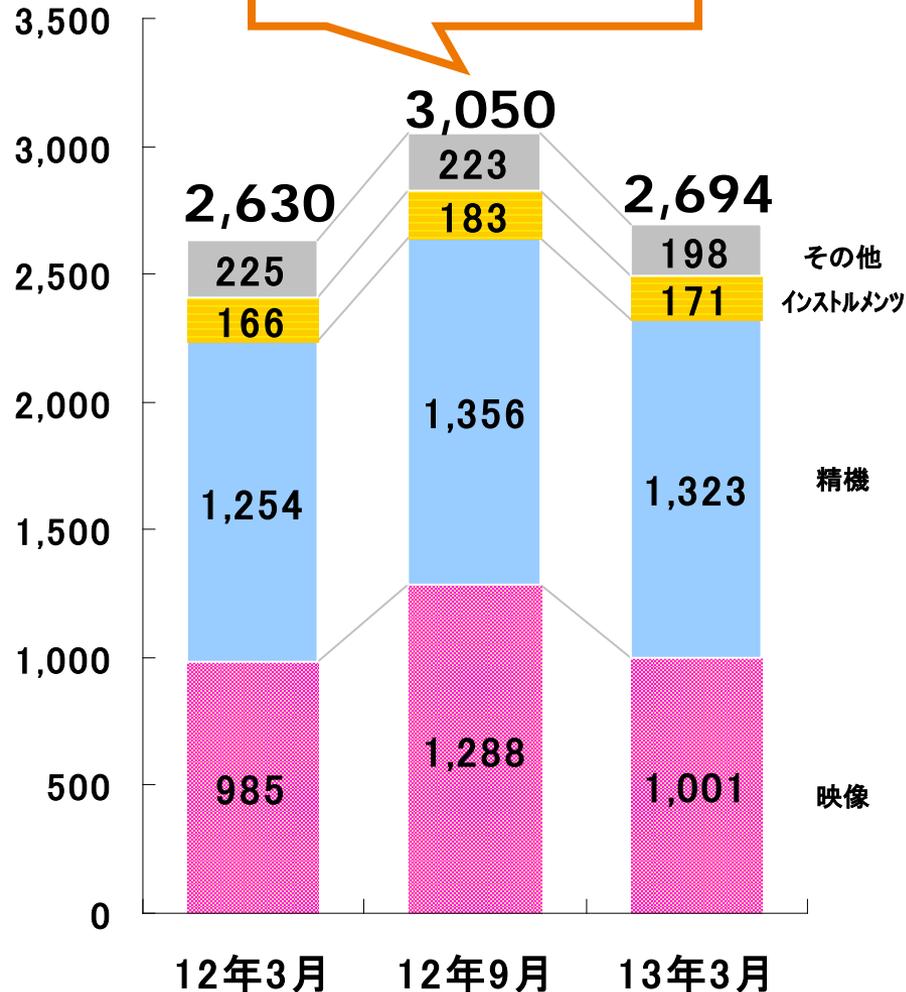
負債・純資産



棚卸資産

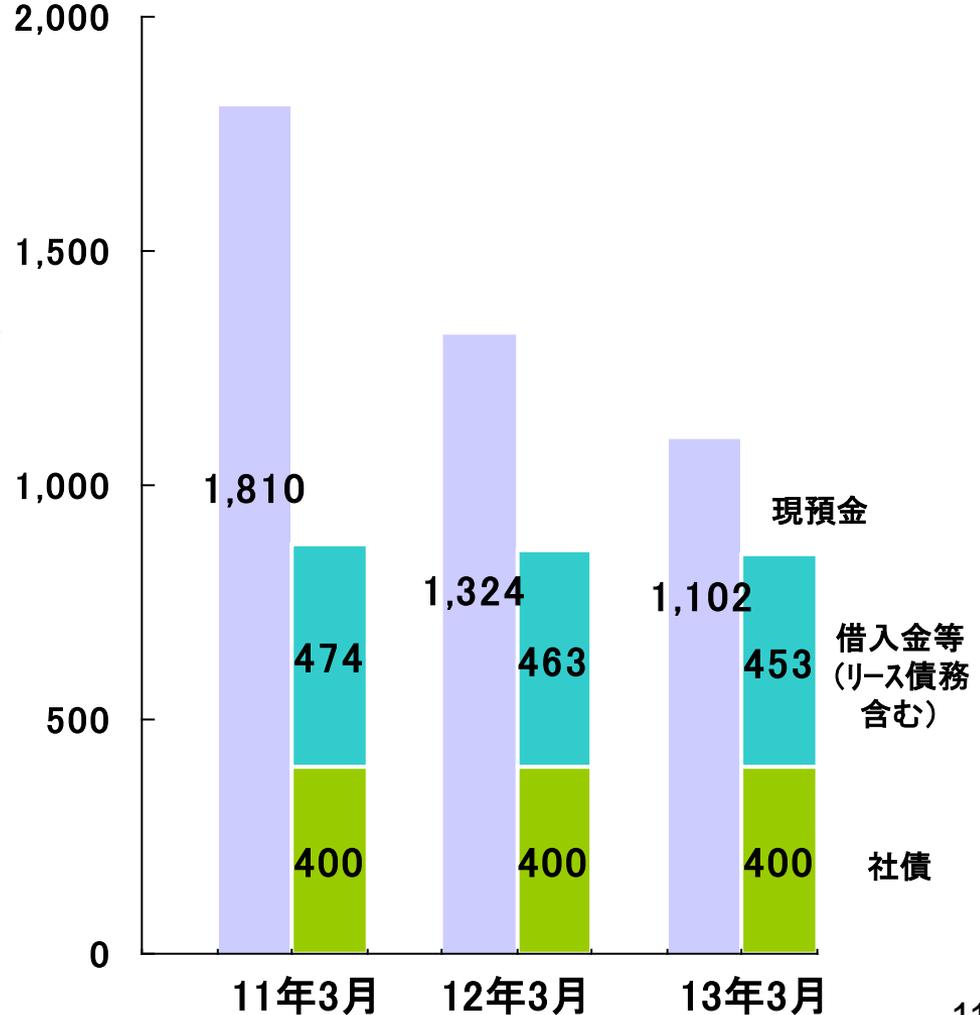
単位: 億円

このグラフのみ、12年9月
を表示しております



現預金・有利子負債

単位: 億円



Agenda

- I. 2013年3月期の概況
- II. 2014年3月期の見通し**
- III. 参考データ

◆**精機事業は液晶露光装置が増加、映像事業はカメラ市況の低迷が続くが、会社全体では10%増収、67%営業増益の計画**

【精機】

半導体露光装置への投資は冷え込んでいるが、下期には回復傾向となる見通し。液晶露光装置は市場が拡大し、引続き高いシェアを確保する計画。17%増収、23%増益の見通し

【映像】

コンパクトカメラは市場縮小が続くが、レンズ交換式カメラ市場は拡大が継続。8%増収、55%増益の計画

【インストルメンツ】

バイオ分野は公共予算の回復に加え、一般向け研究・臨床用生物顕微鏡のシェア拡大を、産業分野では自動車・航空機産業など新たな需要の取り込みを図る。17%増収、赤字幅縮小の計画

◆**年間配当金は41円(中間配当金10円)を予定**

2014年3月期 見通し 連結売上高・損益

単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期	前年実績比
売上高	10,104	<u>4,972</u> 5,132	11,100	<u>5,070</u> 6,030	+ 996
営業利益 売上高比	510 5.0%	<u>371</u> 139	850 7.7%	<u>250</u> 600	+ 340
経常利益 売上高比	483 4.8%	<u>395</u> 88	850 7.7%	<u>250</u> 600	+ 367
当期純利益 売上高比	424 4.2%	<u>320</u> 104	650 5.9%	<u>160</u> 490	+ 226
FCF	▲132		500		+ 632
為替 ドル ユーロ	83円 107円	<u>79円</u> 87円 <u>101円</u> 114円	95円 125円		売上高への予想影響額 約 +1,070億円 営業利益への予想影響額 約 +330億円

事業環境は厳しいが収益性改善を図り、増益を確保する計画

2014年3月期 見通し 精機カンパニー

単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期
売上高	1,790	$\frac{804}{986}$	2,100	$\frac{800}{1,300}$
営業利益 売上高比	130 7.3%	$\frac{72}{58}$	160 7.6%	$\frac{\triangle 20}{180}$
半導体露光装置 新品／中古	25/15台	$\frac{9/5}{16/10}$	38/15台	$\frac{10/7}{28/8}$
液晶露光装置	43台	$\frac{25}{18}$	50台	$\frac{33}{17}$
半導体露光装置 市場規模 CY12/13	222台		200台程度	
液晶露光装置 市場規模 CY12/13	66台		80台程度	

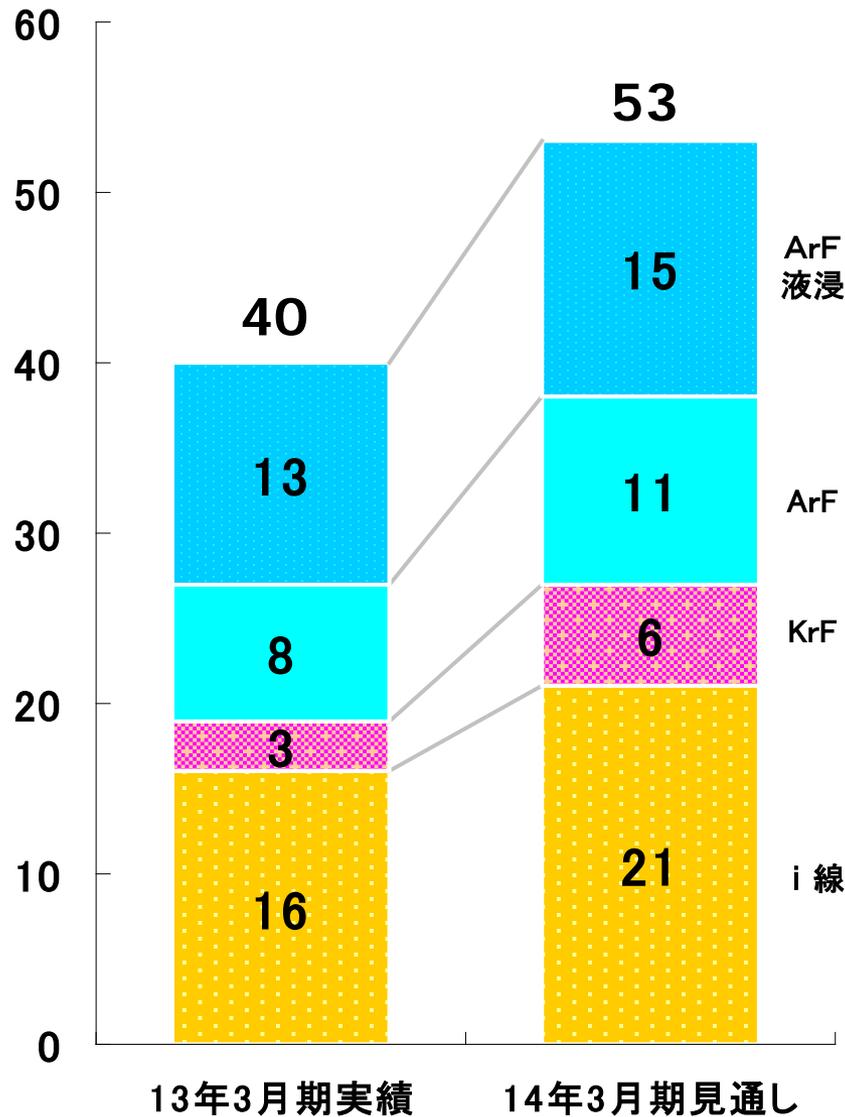
半導体露光装置は、市場縮小のなか、競争力向上により台数増加の計画。
液晶露光装置は市場が回復し、引続き高いシェアを確保

2014年3月期 見通し 精機カンパニー

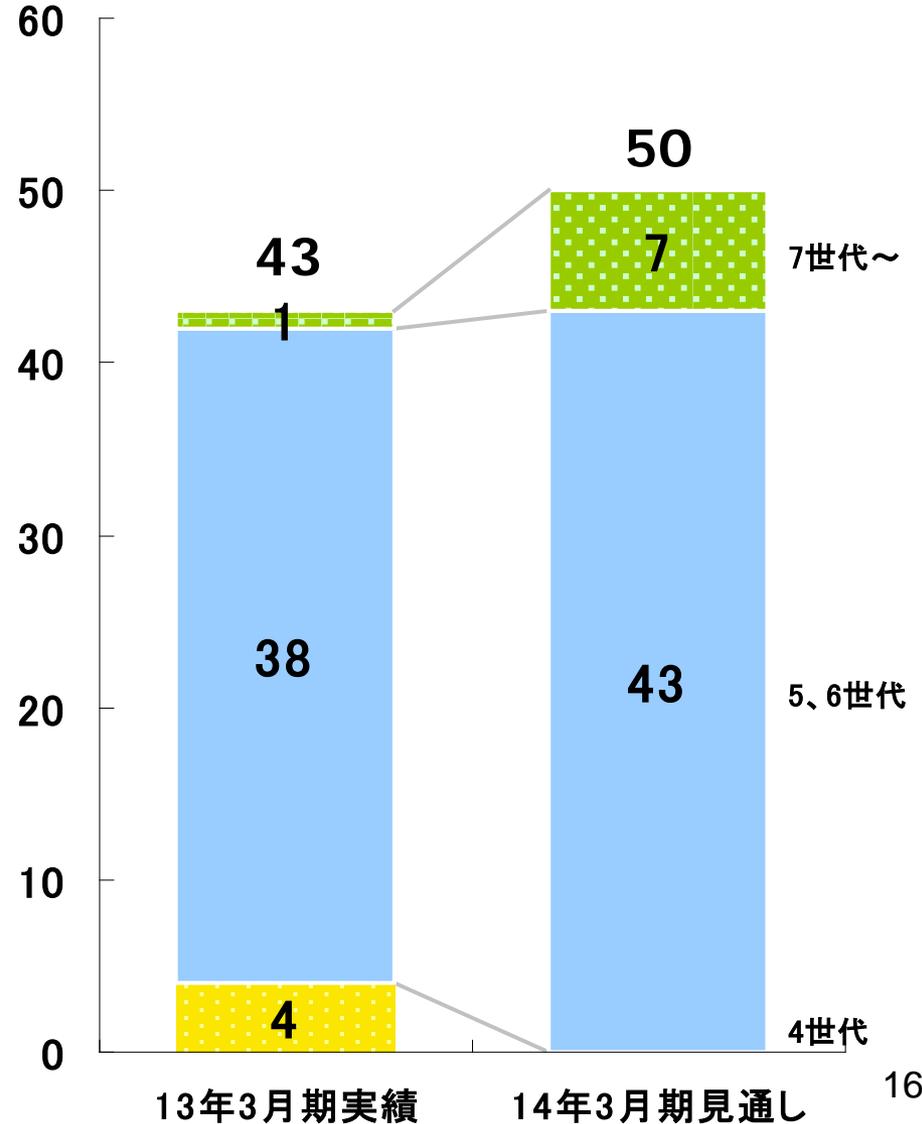


半導体露光装置光源別販売台数(中古含む) 液晶露光装置世代別販売台数

単位:台



単位:台



2014年3月期 見通し 映像カンパニー

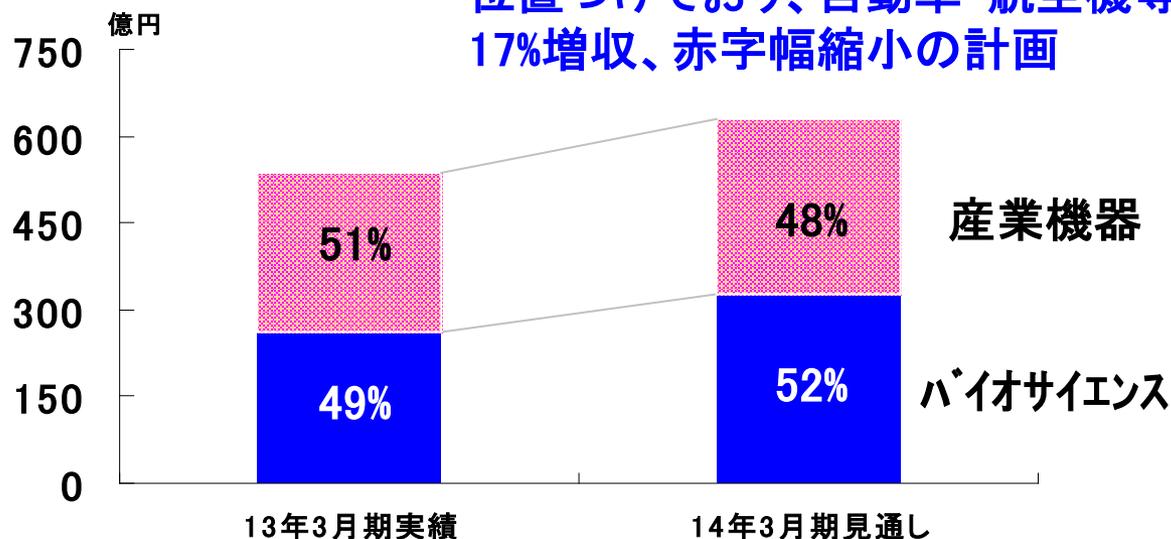
単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期
売上高	7,512	$\frac{3,810}{3,702}$	8,100	$\frac{3,900}{4,200}$
営業利益 売上高比	607 8.1%	$\frac{418}{189}$	940 11.6%	$\frac{420}{520}$
レンズ交換式 デジタルカメラ	698万台	$\frac{345}{353}$	710万台	$\frac{340}{370}$
交換レンズ	971万本	$\frac{477}{494}$	980万本	$\frac{470}{510}$
コンパクト デジタルカメラ	1,714万台	$\frac{826}{888}$	1,400万台	$\frac{650}{750}$
レンズ交換式デジタル カメラ市場規模	1,923万台		2,100万台	
交換レンズ 市場規模	2,964万本		3,200万本	
コンパクトデジタル カメラ市場規模	6,808万台		6,000万台	

一眼レフのエントリークラスでは新製品へのシフトを推進、中級機の新製品効果もあり。コンパクトは引続き採算確保。円安のフォローもあるが、実質でも増益とする計画

2014年3月期 見通し インストルメンツカンパニー

単位: 億円	13年3月期 実績	上期 下期	14年3月期 見通し	上期 下期
売上高	538	$\frac{237}{301}$	630	$\frac{270}{360}$
営業利益 売上高比	▲49 -%	$\frac{▲29}{▲20}$	▲15 -%	$\frac{▲25}{10}$

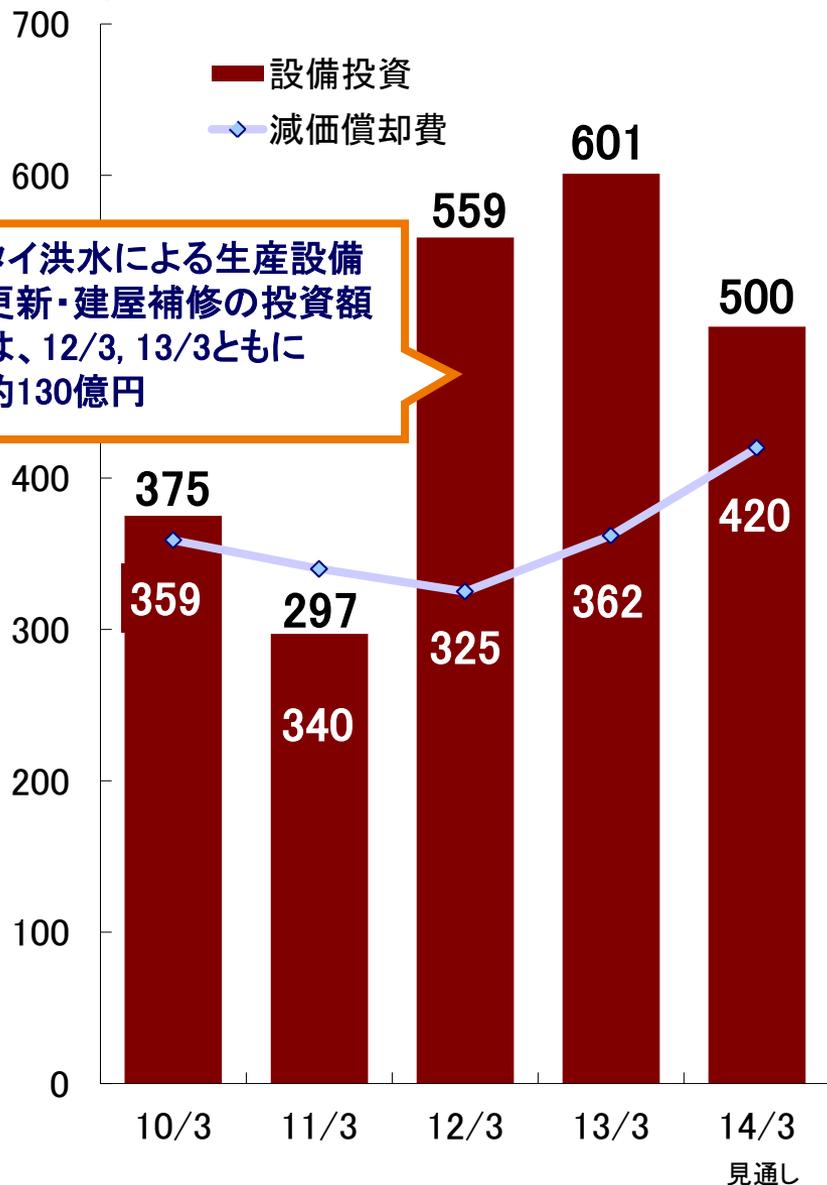
非接触三次元測定機やX線検査装置は、中期的な成長製品と位置づけており、自動車・航空機等をターゲットに販売拡大を図る。
17%増収、赤字幅縮小の計画





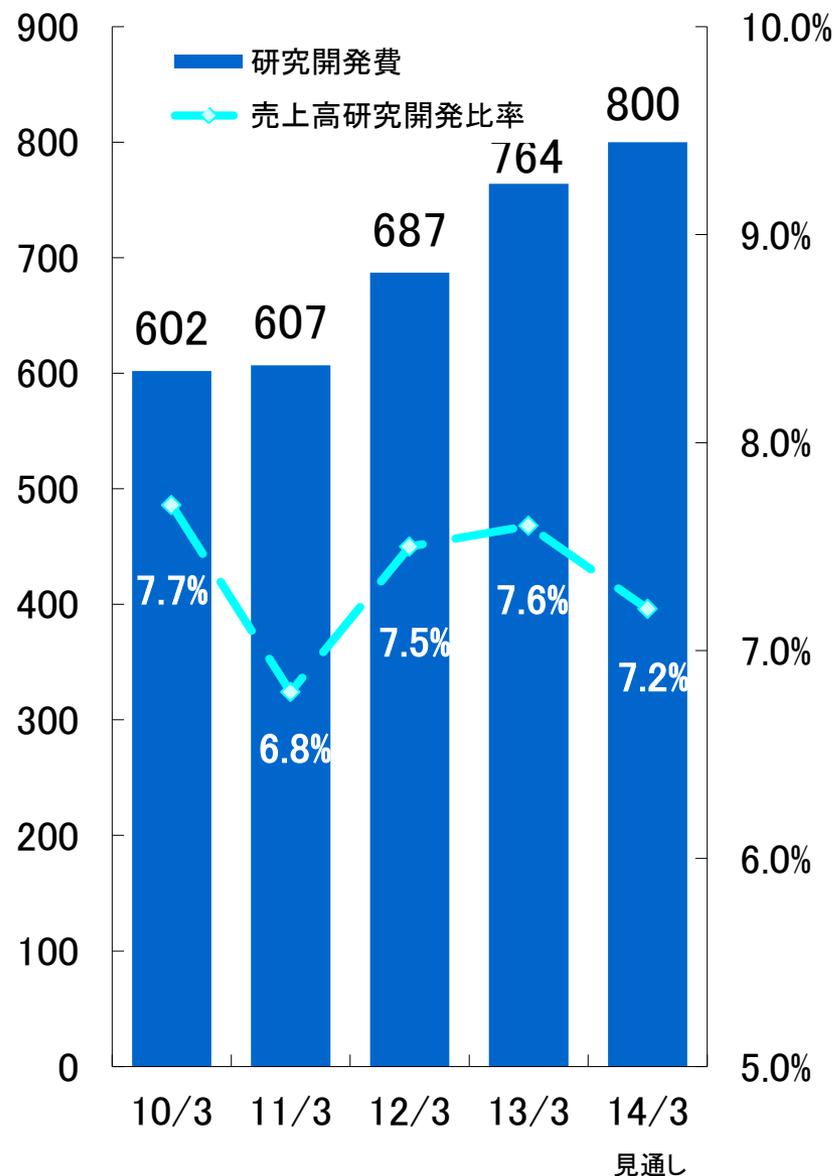
設備投資・減価償却費

億円



研究開発費

億円



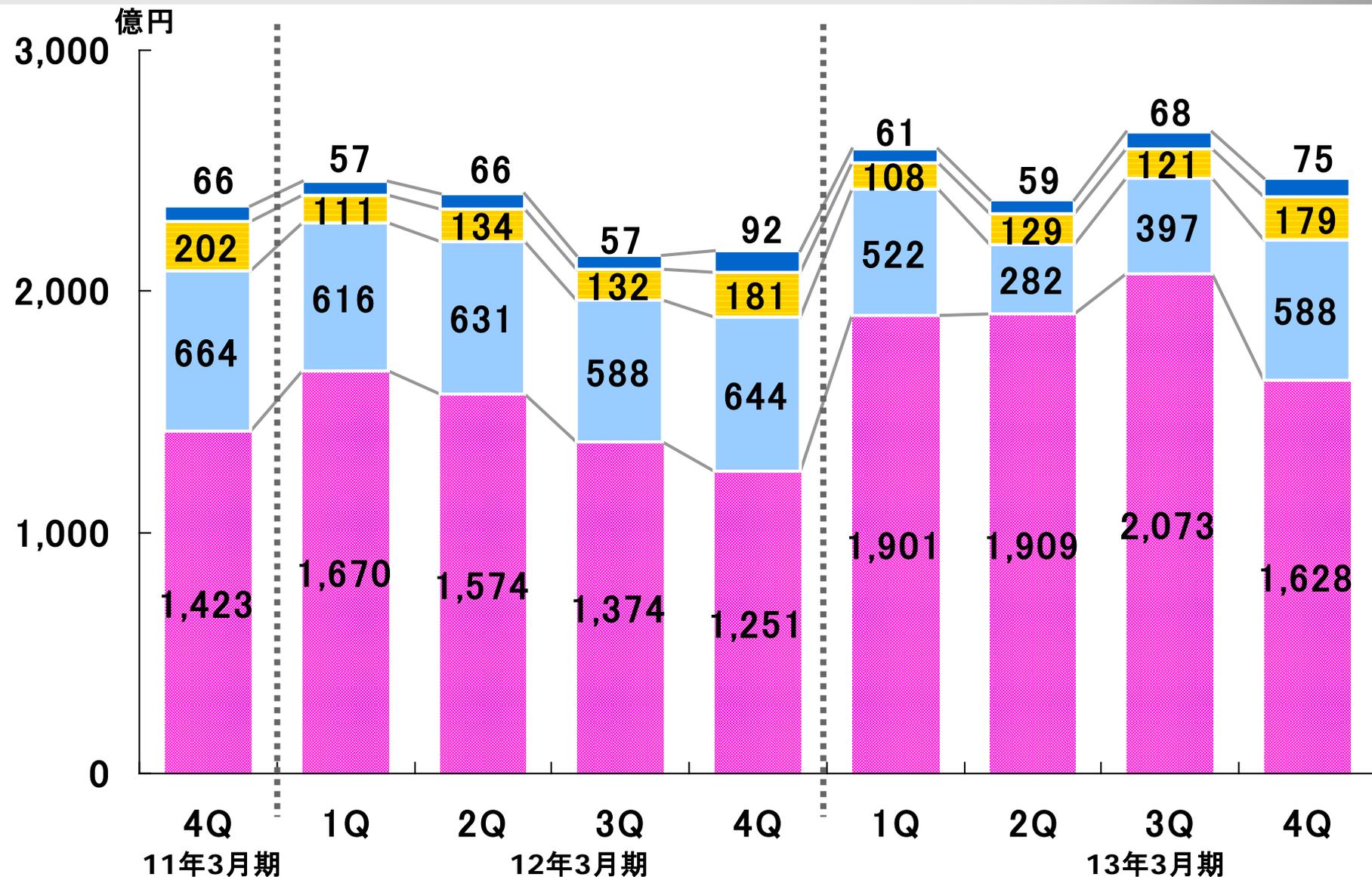
Agenda

- I. 2013年3月期の概況
- II. 2014年3月期の見通し
- III. 参考データ**

2014年3月期 見通し

	為替レート	1円の変動による影響額	
	14年3月期 前提	売上高	営業利益
USDドル	95 円	約 55 億円	約 5 億円
ユーロ	125 円	約 23 億円	約 15 億円

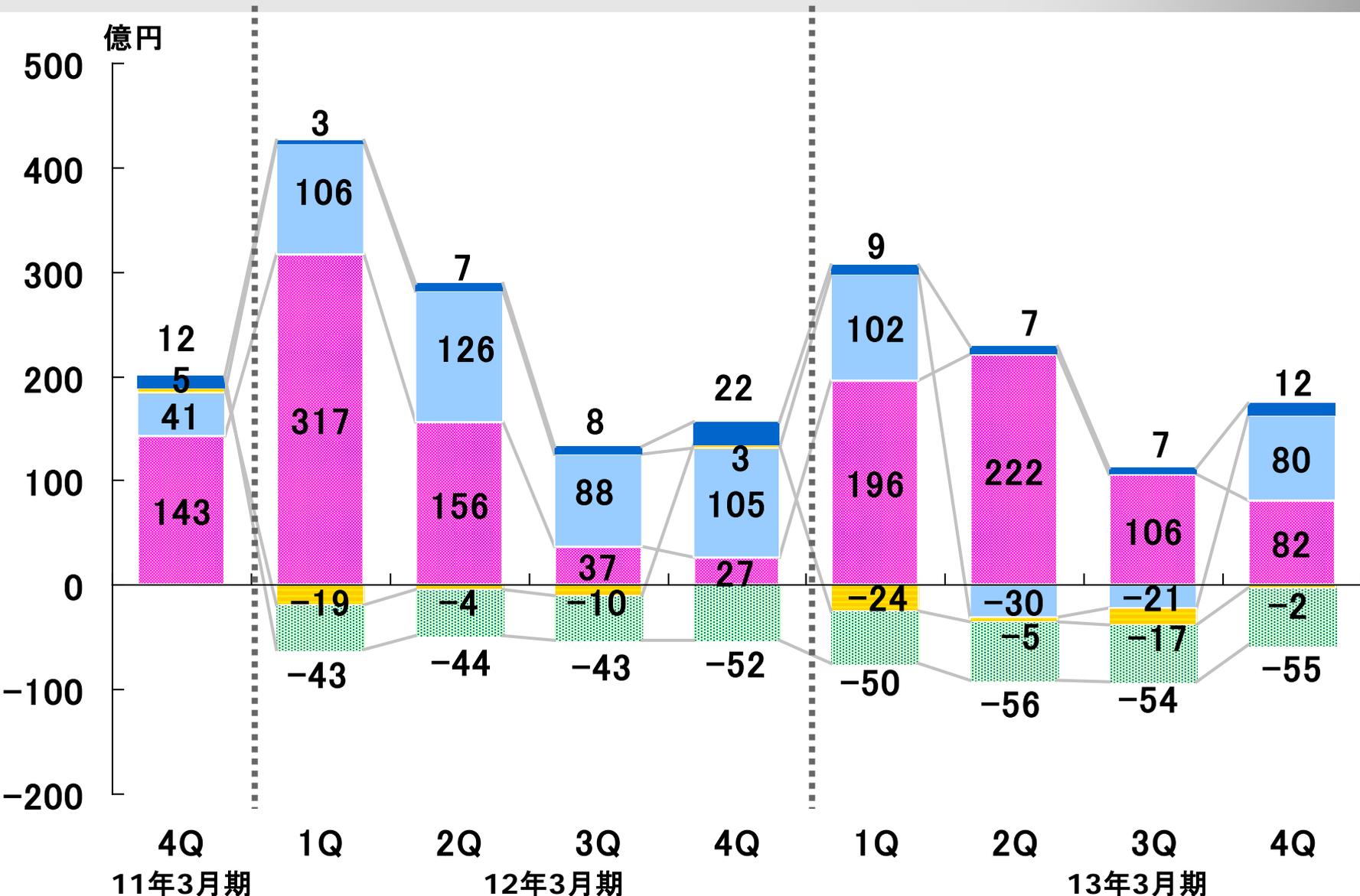
参考データ 四半期セグメント別売上高推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

参考データ 四半期セグメント別営業利益推移



■ 映像カンパニー ■ 精機カンパニー ■ インストルメンツカンパニー ■ その他の事業 ■ 全社費用

* スライドで使用している数値は億円未満は切り捨ててあるため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。



NIKON CORPORATION